

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【公開番号】特開2009-49537(P2009-49537A)

【公開日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-009

【出願番号】特願2007-211593(P2007-211593)

【国際特許分類】

H 04 J 11/00 (2006.01)

H 04 J 1/00 (2006.01)

H 04 W 76/02 (2009.01)

【F I】

H 04 J 11/00 Z

H 04 J 1/00

H 04 B 7/26 109N

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月30日(2009.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プライマリ同期チャネルとセカンダリ同期チャネルとが含まれた同期チャネルを生成する生成部と、

前記同期チャネルを含む信号を無線送信する送信部とを備え、

前記生成部において、複数種類のプライマリ同期チャネル系列番号のそれぞれに対応するように、プライマリ同期チャネルが複数種類規定されており、セカンダリ同期チャネルは、複数種類のプライマリ同期チャネル系列番号のそれぞれに対応して所定の生成多項式から導出されたスクランブルコードを使用することを特徴とする基地局装置。

【請求項2】

前記生成部は、セクタに対応したスクランブルコードを使用することを特徴とする請求項1に記載の基地局装置。

【請求項3】

前記所定の生成多項式から導出されるスクランブルコードは、線形帰還シフトレジスタ(LFSR)系列に属することを特徴とする請求項1または2に記載の基地局装置。

【請求項4】

前記所定の生成多項式から導出されるスクランブルコードは、M系列であることを特徴とする請求項3に記載の記載の基地局装置。

【請求項5】

前記セカンダリ同期チャネルを特定することで、セルIDグループ及び無線フレームタイミングが特定されることを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の基地局装置。

【請求項6】

プライマリ同期チャネルとセカンダリ同期チャネルとが含まれた同期チャネルを生成するステップと、

前記同期チャネルを含む信号を無線送信するステップとを備え、

前記生成するステップにおいて、複数種類のプライマリ同期チャネル系列番号のそれぞ

れに対応するように、プライマリ同期チャネルが複数種類規定されており、セカンダリ同期チャネルは、複数種類のプライマリ同期チャネル系列番号のそれぞれに対応して所定の生成多項式から導出されたスクランブルコードを使用することを特徴とする送信方法。

【請求項 7】

前記生成するステップは、セクタに対応したスクランブルコードを使用することを特徴とする請求項 6 に記載の送信方法。

【請求項 8】

前記所定の生成多項式から導出されるスクランブルコードは、線形帰還シフトレジスター(LFSR)系列に属することを特徴とする請求項 6 または 7 に記載の送信方法。

【請求項 9】

前記所定の生成多項式から導出されるスクランブルコードは、M系列であることを特徴とする請求項 8 に記載の記載の送信方法。

【請求項 10】

前記セカンダリ同期チャネルを特定することで、セルIDグループ及び無線フレームタイミングが特定されることを特徴とする請求項 6 から 9 のいずれかに記載の送信方法。

【請求項 11】

プライマリ同期チャネルとセカンダリ同期チャネルとが含まれた同期チャネルを無線送信する基地局装置と、

前記基地局装置からの同期チャネルを受信するユーザ装置とを備え、

前記基地局装置では、複数種類のプライマリ同期チャネル系列番号のそれぞれに対応するように、プライマリ同期チャネルが複数種類規定されており、セカンダリ同期チャネルは、複数種類のプライマリ同期チャネル系列番号のそれぞれに対応して所定の生成多項式から導出されたスクランブルコードを使用することを特徴とする無線通信システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】無線通信システム、基地局装置及び送信方法

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

一実施例では基地局装置が使用される。基地局装置は、プライマリ同期チャネルとセカンダリ同期チャネルとが含まれた同期チャネルを生成する生成部と、前記同期チャネルを含む信号を無線送信する送信部とを備え、

前記生成部において、複数種類のプライマリ同期チャネル系列番号のそれぞれに対応するように、プライマリ同期チャネルが複数種類規定されており、セカンダリ同期チャネルは、複数種類のプライマリ同期チャネル系列番号のそれぞれに対応して所定の生成多項式から導出されたスクランブルコードを使用することを特徴とする基地局装置である。